

OJIYA LIONS CLUB

小千谷ライオンズクラブ 活動レポート 2014-15

ライオンズクラブは
地域社会への奉仕団体です。



小千谷ライオンズクラブは2015年、結成48年を迎えました。
現在は63名のメンバーが献血活動や清掃活動をはじめ、
青少年の健全育成など地域に根ざした様々な奉仕活動を実施しています。
奉仕の精神に溢れた私たちの活動を紹介します。

ライオンズクラブのモットー

We Serve

われわれは奉仕する

ライオンズクラブは、世界約200カ国、130万人、
日本では11万人を超える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。
「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」をモットーとして掲げ、
世界の国々でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます。

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る

※LIONSの一文字ずつを取り入れたもの。

誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する



平成26-27年度
第47代 会長

村山 正三

会長挨拶

会員の皆様のご協力のお陰で2014年度の行事活動も事故もなく無事に終える事が出来ました。当初は不安と希望をかかえての出発でしたが、委員会、会員の皆様のご協力がある事とあらためて感謝致しております。心から御礼を申し上げます。

私のモットーであります「出会いとお陰に感動の奉仕」は、人との出会いが自分自身を成長させてくれた経験から生まれたものでした。多くの人と地域のお陰、ご縁があって出会った方々とのふれあいを通じ感動を与えられる奉仕活動を目的として今日までできました。

青少年活動から始まり、地域活動、高齢者活動と多くの地域の人達と新しい出会いが出来て、「ありがとう」「楽しかった」「おいしかった」「又お願いします」何よりのご褒美のお言葉をたくさんいただきました。大勢の皆さんから喜んで頂けた活動ができたと信じております。また、会長の立場として地元はもちろん上部組織、他地域、他団体との交流を経験させて頂き、クラブのお付き合い、人々のお付き合いを通じ、大きな宝物を得ることができました。

我々の「誓い」にもありますように、「友愛と相互理解」こそ、奉仕活動の源泉であると思っております。とはいえ、一年間を振り返りますと私の力不足の為に理事、会員の皆様には多大なご無理、ご協力をお願いした部分が多かったのではと反省もしております。

さて、当クラブはまもなく結成50周年を迎えます。奇しくも同年度は、ライオンズクラブ創立100周年の節目の年でもあります。会員一同、一層の団結で迎えたいと思います。これからもWeServeの精神を常に持ち続け、地域社会への活動を継続していきたいと考えております。今後も、会員の皆様、ご家族の皆様、そして地域の皆様の心強いご支援ご協力をお願い申し上げます。

一年間、本当にお世話になりありがとうございました。

ライオンズクラブは、一定の日時を決め、月2回のクラブ独自の企画による例会を開催しています。各界からのゲストを招いた講演会やメンバーによる講演や勉強会も行われ、有意義な時間を過ごしています。

ゲストスピーカー

クラブ例会に招かれて講演する当該クラブ会員以外の人を指します。年に数回、開催されています。



(株)全国観光の金 明煥（キムミョンファ）様から、日韓国交正常化50周年事業についてスピーチいただきました。



小千谷魚沼地区保護司会の小林隆一会长様と池之上芳俊支部長様をお招きし、「保護司会の活動について」という演題でスピーチをいただきました。



小千谷警察署生活安全課長、新潟県警部補 星野仁様に市内・県内の犯罪発生状況、特殊詐欺（オレオレ詐欺）などの対処方法についてスピーチを頂きました。



北村医院 北村雄大先生をお迎えし、生活習慣や食生活に気をつけなければならない点や、食事の際の食べる順序のポイント を語っていただきました。

メンバースピーチ

例会に会員が大勢を前にしたスピーチ実践を通じて、ビジネスの現場でも役立つスキルが身につきます。



L. 渡辺 「税務について」
税理士 L. 渡辺は企業の内部統制・経理能力の水準を向上させることを目的とした実務レベルのスピーチを行いました。



L. 本田 「花火について」
世界一・四尺玉花火を打ち上げる花火師 L. 本田は、花火が開花する仕組み、打ち上げ方法、製造工程のスピーチです。



L. 平澤 「小千谷ライオンズクラブの生い立ち」
ライオン歴の長い L. 平澤は小千谷ライオンズクラブの歴史、他クラブとの交流の歴史をスピーチ頂きました。

大会

国際大会、複合地区大会、地区大会などがあり、地区大会は地区ガバナーおよび副地区ガバナーを選出し、国際理事候補者などを推薦し、地区に関する決議を行います。ハワイ、ホノルルでの国際大会にも参加しました。



有限会社 米萬商店
代表取締役 相崎 秀人

有限会社 安部技研
代表取締役 安部 功

セブンイレブン小千谷東(寅山松)酒店
代表社員 池 敏

弁護士法人中村総合法律事務所小千谷支部
支部長 石田 道明

有限会社 ユーザーサービスシステム内山
代表取締役 内山健太郎

ユニオンフーズ 株式会社
代表取締役 大宮 武一

大川印刷 株式会社
代表取締役 大川 晃一

大洲産業 株式会社
取締役社長 大洲 一喜

魚沼建材 有限会社
代表取締役 大洲 庸一

KDデザイン室
代表・デザイナー 金子 敏明

ラーメンつり吉
社長 喜多村利幸

杵淵公認会計士事務所
所長 杵淵 一夫

青少年育成

スポーツを通じての育成

私たちは地域の人たちと手を取りあい、スポーツなどを通じ青少年の健全育成やまちづくりの為に様々な活動を実施しています。また、社会にはびこる誘惑から子供を守り、次世代を担う「人を育てる」ことに務めます。

青少年・学童野球大会

青少年委員会

ライオンズクラブは、夢に向かって全力でプレーする子どもたちを応援しています。野球を通じて、子どもたちの夢や希望、そして健全な「こころ」と「からだ」の育成を願っています。



8月3日、白山運動公園において市内10チームと加茂チームが参加。熱戦が繰り広げられました。

- 中学の部 優勝 片貝中学校
- 学童の部 優勝 DMクラブ



親善バレーボール大会

環境保全委員会

ライオンズクラブは、バレーボール大会を通じて児童の親睦と交流を図り、子供たちの体力の向上と逞しい意欲の育成に努めています。



8月3日、小千谷総合体育館にて開催。最後の試合となる3年生と下級生との決勝戦など、見応え充分な試合となりました。

- 優勝 片貝中学校B
- 準優勝 千田中学校B



株式会社 木村工業所
取締役 木村 一彦

小林不動産 株式会社
代表取締役 小林 宏至

大市電気 株式会社
代表取締役 佐藤 春男

株式会社 木村食品
代表者 木村 学

有限会社 近藤商店
代表取締役社長 近藤 貴司

三仏生繊維 株式会社
代表取締役 佐藤 亨

川岸屋旅館
専務取締役 久保田陽一

株式会社 案親巧房
代表取締役 佐藤 諭

株式会社 トラスト
代表取締役 品田誠一郎

小杉興産INC.、有限会社 米蔵
代表取締役 小杉 義則

有限会社 小千谷清掃社
取締役会長 佐藤 立美

株式会社 新保工務店
代表取締役 新保 浩富

山紫水明、自然豊かな小千谷市の自然環境を将来にわたり保全して行かねばなりません。
ライオンズクラブは、森や林を育て、公園を清掃し、緑を守る奉仕活動を地道に行っております。
シルバー人材センターとの合同作業は、毎年恒例の奉仕活動になりました。

白山運動公園の清掃・ライオンズの森整備

ライオンズの森委員会

年に2回、白山運動公園周辺をシルバー人材センター様と合同で草刈り・清掃等の活動を行います。



自然と緑を守り 会員自身が汗をかく ボランティア活動

私たちのライオンズの森は、結成25周年の記念事業として市より土地をお借りして造成し、加茂ライオンズクラブとの友好を重ねながら整備を続けてきました。

その後平成9年に30周年記念式典で小千谷市に寄贈したという経緯から、小千谷市シルバー人材センター様に呼びかけて賛同をいただき、平成10年より、15年を越す合同作業を続けています。

2014年の震災復興市民植樹祭で植えたどんぐりの苗木も大きく育ちはじめています。
落葉広葉樹の森を回復させることを目的に、会員自らどんぐりの種拾いをし、苗木を育てました。



H26年5月18日 山本山の市民の家山頂側付近を会場に震災復興市民植樹祭が行われ、どんぐりの苗木を植樹しました。

せきねFP社会保険労務士事務所
代表 関根 芳美

株式会社 さくら印刷
代表取締役 瀬沼 新作

高野板金 株式会社
取締役 高野富士子

株式会社 高橋電気
会長 高橋 賢一

株式会社 高五組
代表取締役 高橋 忠利

株式会社 和光造園緑地建設
取締役会長 田中 一男

有限会社 田中造園
代表取締役 田中 定信

株式会社 中澤建工
代表取締役 中澤 忍

有限会社 南雲建築工業
代表取締役 南雲栄三郎

ミドリ薬品 株式会社
代表取締役 野村 輝雄

社会福祉法人「ほのほの小千谷福祉会」
事務長 長谷川有理

キャット ハンド
代表 平澤 和孝

保健福祉

献血推進・アイバンク登録の推進・
骨髄バンクドナー登録運動・健康促進

ライオンズクラブは自治体と連携し、アイバンク・献血推進、骨髄バンクドナー登録運動を進めています。角膜移植により目の不自由な人たちに光を取り戻したい。また、地域社会の人たちが、健全で安心して暮らせるよう奉仕に務めます。

献血推進・募金活動

保健薬害アイバンク委員会

国内で献血が本格化した1960年代半ばから積極的に献血の推進に取り組み、輸血用血液の確保に大きく貢献を続けています。1989年には、日本赤十字社が創設した第1回献血推進賞を受賞しました。



8月24日 おぢやまつり本町会場にて募金活動を行いました。



募金先・募金額

- 募金先：薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金
- 募金金額：**21,453円**

アイバンク・骨髄バンク募金活動

青少年・環境保全・PR/IT情報委員会

ライオンズクラブは視覚障害者福祉や視力保護の活動に重点を置いています。現在全国にある54のアイバンクの多くは、各地のライオンズによって設立され、運営においても中心的役割を担っています。



3月1日 風船一揆イベント平沢会場にて沢山の皆様より善意の募金をいただきました。



募金先・募金額

- 募金先：公益財団法人日本骨髄バンク
公益財団法人日本アイバンク協会
- 募金金額：**99,900円**

赤い羽根共同募金活動



赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。

小千谷ライオンズクラブは毎年継続して募金を行っています。今年も多額の特別募金を頂きました。記念に赤い羽根のバッジをお渡ししました。

エコキャップ運動

エコキャップ回収数は約38万個になり、ワクチンで480人分、CO₂削減に3,027.5kg 減、杉の木216.25本分と貢献しています。

ゲートボール大会

社会福祉・環境保全委員会

ゲートボール大会を通して、ゲートボール愛好者との親睦と健康と生きがいづくりを促進しています。31回目の今年は、14チームが参加しました。



株式会社 平 忠
代表取締役 平澤 英康

有限会社 藤巻時計店
代表取締役 藤巻 智也

明治安田生命保険相互会社
小千谷営業所長 古本 浩一

有限会社 星金養鯉場
代表取締役 星野 勝之

有限会社 ネット
代表取締役 星野 幸平

有限会社 片貝煙火工業
専務取締役 本田 和憲

株式会社 本田建築
取締役 本田 剛

有限会社 マツイ
代表取締役 松井 靖博

ヒムエレクトロ 株式会社
代表取締役 丸山 春治

木の店 村山建築
代表 村山 正三

合資会社 京屋商店
代表社員 山崎 達也

有限会社 山田鉄筋工業
代表取締役 山田 達也

自然災害救援ボランティア

ライオンズクラブは、災害からの一日も早い復興を願い、地域社会の皆さんと共に災害復興支援活動を継続しています。被災地に食糧、水、衣類、医療品などの緊急支援物資を提供しています。

自然災害が起きたときには、ライオンズは真っ先に救援に駆けつけて災害救援ボランティアを行います。アメリカをハリケーン・カトリーヌが襲ったとき。日本で地震とそれに続く津波が大災害を引き起こしたとき、ネパールが大地震に襲われたときも、ライオンズは緊急支援と長期的な災害支援を提供しました。

多くの地元のライオンズが自然災害で被災した地域で救援活動ボランティアを行っており、LCIFはライオンズの救援活動に毎年5000万ドル以上を交付金として支給しています。世界中のライオンズからの惜しみない献金が、こうした国際的な災害救援活動を可能にしています。また、災害準備計画と災害救援プログラムによって、自然災害、人災、または保健上の緊急事態発生時にライオンズは地域社会を支援でき、他国でのライオンズの救援活動に貢献できます。



2015年ネパール大地震

クラブ間交流



新年例会
[新潟セントラルライオンズクラブ]



春のゴルフコンペ
[新潟セントラルライオンズクラブ]



4月第二例会（花見例会）
[新潟セントラルライオンズクラブ]



合同例会
[加茂ライオンズクラブ、田上ライオンズクラブ]



秋の合同ゴルフコンペ
[加茂ライオンズクラブ、新潟セントラルライオンズクラブ]



秋の遠征ゴルフコンペ
[新潟セントラルライオンズクラブ]

有限会社 山田自動車工業
取締役 山田 浩

有限会社 山 長
取締役 山田 豊

中央タクシー 株式会社
代表取締役 横田 隆

有限会社 吉田商店
取締役 吉田 久則

有限会社 若井管工設備
代表取締役社長 若井 和彦

和田建工
代表取締役 和田 孝雄

株式会社 わたや
代表取締役 和田 正樹

渡吉建設
代表 渡邊 克吉

渡辺税理士事務所
所長 渡辺 浩行

株式会社 日本観光
代表取締役 渡辺 司之

株式会社 渡部工業
取締役 渡部 貞男

有限会社 アクトホーム
代表取締役 広井 年郎

有限会社 栄鉄工
代表取締役 小宮 修

株式会社 ユーワ
代表取締役会長 山崎 孝夫

株式会社 魚沼電子
代表取締役会長 宮川 久夫

株式会社 ヨシザワ
代表取締役会長 吉澤 義弘

ライオンズクラブの歴史

1917

アメリカの実業家メルビン・ジョーンズが、他者への奉仕を目的としてライオンズクラブ国際協会を創立。その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。

1945

ライオンズクラブ国際協会は、サンフランシスコで開かれた国際連合結成会議において主導的な役目を果たしました。47年以来、国際経済社会理事会の民間諮問機関として活躍しています。

1952

日本では、戦後1952年3月にライオンズクラブが誕生。その後、わずかの年月のうちに多数のクラブと会員を集め、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。

1968

小千谷ライオンズクラブは、高度経済成長時代の1967年（昭和42年）12月10日、初代会長大川晃佑の下、新潟セントラルライオンズクラブのスポンサーによって、翌1968年（昭和43年）9月22日に国際協会より正式に承認されました。

1990

世界中から予防可能あるいは回復可能な失明を根絶するためのプロジェクト「視力ファースト・プログラム」を開始。

2007

ライオンズクラブは、イギリスの経済紙「ファイナンシャル・タイムズ」が国連グローバル・コンパクトと協力して実施した NGO の格付けで最高位を獲得。



結成35周年記念式典



結成40周年記念式典



結成45周年記念式典

小千谷ライオンズクラブ 2014-2015年度 ガバナーズアワード賞 受賞



- ・環境保全優秀クラブ賞A賞(防災・森林植樹及び育苗活動の実績)
 - ・LCIFアワード優秀クラブ賞B賞(全会員による20\$献金達成)
 - ・情報テクノロジー活動優秀賞B賞(Web情報12回以上発信)
- を受賞いたしました。会員全員の日頃の努力と協力への結果です。これらを励みにこれからも地道に活動を続けていきます。

message

「社会の役に立ちたいが、何から始めればいいのか？」とお考えの方にとって、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。

ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。



ライオンズクラブの会員になるには

ライオンズクラブへの入会資格は、法的な成人で道徳的な人格を持ち、人類と平和を愛し、地域の人々の尊敬を集める人。

批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、

誠実を旨とし、真の友情と奉仕の心を持った人です。

入会にあたっては、ライオンズメンバーの紹介（招請）が必要です。

招請ののち、クラブメンバーの承認を経て会員となります。

費用としては入会金と会費が必要です。

入会前に例会を見学する事ができます。



国際協会333-A地区4R2Z

小千谷ライオンズクラブ

事務局 〒947-8691 新潟県小千谷市本町2丁目1番5号
TEL.0258(83)2445 FAX.0258(86)6703